



## 一人ひとりの心がけから、明るい未来を

～6/23-29は男女共同参画週間～

毎年6/23～29は国が定める男女共同参画週間です。内閣府が若い世代（15～20歳）を対象に募集した今年のキャッチフレーズには次の作品が選ばれました。

### 無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。

男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージとして、募集し、選ばれたものです。

思い込みは「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」につながる場合があります。つまり、言った本人に悪気はなくても、言われた人にとっては傷つく言葉だということです。言葉だけではなく、とった行動も含まれます。

「子どもは3歳までは母親がみるのが一番」

「収入が少ない男性は結婚できない」

こんな言葉を耳にしたことはありませんか？

これらに当てはまらない事例は世の中にはいくらでもありますよね。

決めつけから自由になり、ありのままの自分でいられる環境が当たり前になる社会を目指していきましょう。



### G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合

6/24・25に栃木県日光市で、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されます！国際社会が抱えるジェンダー平等に関する課題について、世界の代表が日本で話し合います。日本での開催は初めてです。

## ジェンダー平等の扉を開いた偉人紹介

Vol.10

ジェンダー平等に尽力した日本の偉人をご紹介します

### 岸田 俊子 (1861~1901)

女権拡張運動家

京都生まれ、小学校では神童と呼ばれるほどの秀才だった。宮中勤めの後、長旅に出て出会ったのが自由民権運動だった。

「男女同権」を訴える演説を開き、論理的かつ明快な演説が話題になった。当時の良妻賢母教育に異を唱え、その後の女性解放運動につながっていった。



今月知っておきたい言葉

### 経口中絶薬

人工妊娠中絶を飲むことで行う薬。

これまで日本では外科的な手術（掻爬法、吸引法）でしか、中絶が認められていなかったが、令和5年4月に厚生労働省の分科会が薬の承認を行った。今後、正式な手続きに入る見通し。

海外では30年以上前から経口中絶薬の使用が認められており、日本でも承認を求める声が高まっていた。



## 新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。



『父娘ぐらし』（渡辺電機機、KADOKAWA、2022年）

55歳まで独身で自由な生活を送ってきた漫画家が、2人の娘を持つ女性との結婚でいきなり父親に。娘との生活はこれまで過ごしてきた世界とは違うものでした。苦労や驚き、自分の感情の変化などを綴ったコミックエッセイです。漫画なので、あっという間に1冊読むことができますよ！

『女性の生きづらさとジェンダー』

（心理学研究会ジェンダー部会編、有斐閣、2021年）

心理学分野に関わる人が、多くの女性たちと接する中で「ジェンダー」の視点を通して見えてきた女性の生きづらさをまとめた本。ジェンダーに関わる人はもちろん、社会的弱者を支援する支援者にも読んで欲しい一冊です。



このニュースレターは、松本市公式ホームページでも見ることができます。

**Facebook、Twitter もやっています！**

松本市女性センター



<編集・発行>

松本市 人権共生課（松本市女性センター）

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153

✉ kyousei@city.matsumoto.lg.jp